

責任者の監視不足か！ 安全教育を徹底せよ！

「新大阪駅感電事故死亡について」の業務委員会開催！

本部は12月7日、「申」第11号について業務委員会を開催しました。8月12日、午後1時30分頃発生した新大阪駅の配電室での感電死亡事故について議論を行いました。会社は、三大鉄道事故と言われる重大事故が短期間の中で連続して発生したことを真摯に反省する必要があります。本部は、この感電死亡事故を教訓とし、二度と悲惨な死亡事故を起こさないために、教育の徹底と作業監視員の拡大を強く迫りました。会社の回答と主な議論は以下の通りです。

「申」第11号(新大阪駅感電事故死亡について)

1. 事故状況の詳細を明らかにすること。

【回答】

発生日時：平成21年8月12日13時29分に発生、場所は新大坂日ノ出総合配電室、受傷者は渡辺電気（新生テクノス二次下請会社）作業員63才（経験43年）死亡。概況は13時29分、電力指令（大阪地区指令）空調トランス地落過電流警報があり指令から作業責任者に連絡。作業責任者が機器室内を調査し、作業者が前のめりで配電盤にもたれかかっているのを発見直ちに救急車を手配した。13時56分受傷者は心肺停止のまま救急車で搬送され、14時10分国立病院機構大阪医療センターに到着14時39分死亡が確認された。

2. 感電事故の原因を明らかにすること。

【回答】

活線近接作業における感電事故防止対策が採られなかったため。

3. 再発防止の対策を明らかにすること。

【回答】

- (1) 活線近接作業の感電事故防止対策を再徹底する。
- (2) 活線近接作業は、減速中止とし、教育・見極を実施したのち再開する。
- (3) 8月13日～8月18日に電気関係協力会社も含めた緊急事故防止会議を幹鉄事管内全地区（関西支社含む）開催し、指導徹底した。

4. 触車死亡事故に続く感電死亡事故であり、協力会社に対する安全教育の再徹底を図ること。

【回答】

労働災害防止については、毎年重点実施事項を定め労働安全衛生法等の法令及び作業マニュアル類を理解して遵守すると共に、ルール違反を絶対に許さない姿勢を定着させ、繰り返し発生している4大災害の発生を防止するという基本方針のもと、協力会社と一体となって強力に取り組みをすすめている。また、安全対策部員が直接現地に出向いて、実施する安全監査や、強力会社約200社の各社社長を含む安全担当役員が出席し、運転事故・労働災害防止について検討する。安全推進会議の開催、関係協力会社のKY推進指導などにより、当社と協力会社が一体となって、安全意識の高揚、労働災害防止に向けて取り組んでいく。

組合：作業に着手したのは何時か。

会社：分からない。13時29分に空調トランス地落過電流警報が鳴った。

組合：地落した電圧は高圧なのか。

会社：低圧である。(220V)

組合：作業場所は地落して、逃げられないような場所であったのか。

会社：配電盤を開けてケーブル類を整理していたと推測される。

組合：作業者と作業責任者との位置関係はどうだったのか。作業責任者は作業者が見える位置にいたのか。

会社：7人がいくつかのグループを組んで作業をしていた。地落している瞬間は見るできない位置であった。

組合：保護具を、作業者は付けていたのか。

会社：着手時点では装着していたが、発見時には装着はしていなかった。

組合：作業責任者に対するJR側の教育はどうであったのか。

会社：作業責任者には、ライセンスを持つための教育を社団法人鉄道電業協会に委嘱している。対策で回答した通りである。

組合：事故のあった社員のいる渡辺電気は、安全教育を実施していたのか。

会社：渡辺電気もやっている。元請も安全指導をやっている。

組合：作業責任者のライセンスは作業をしていた7人は全員持っていたのか。

会社：有資格者を配置していれば問題はない。

組合：しかし、事故は発生してしまった。全員にライセンス取らせるべきだ。
会社：安全対策部員が、安全パトロールを実施している。安全監査を現業機
関に3年に1回やっている。
組合：作業は無電圧の状態で行うのではないか。
会社：活線下の作業は禁止していない。保護具を着けて作業すること。活線
部分に絶縁物を着けて作業をしている。
組合：作業の再開は、教育見極めを実施した後再開すると回答したが、新生
テクノスはどのような安産対策をしたのか。
会社：作業実態を見て安全意識を確認して、大丈夫であると確認した。
組合：触車事故の時も作業監督者の目の届かないところで発生した。今回も
作業責任者の目の届かないところで発生した事故である。教育という
ソフト面もそうだが、ハード面として、協力会社に対して、作業の状
態を常時確認できる監視体制を強化するようによ指導をすること。

以 上